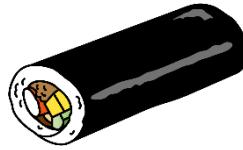




2月 給食だより



1年の幸福を願う「節分」の行事

2月3日 節分



立春の前に当たる節分には、古くから、豆まきをしたり、ヒイラギイワシ(ヤイカガシ)を玄関に飾ったりして、病気や災難を起こす“鬼(邪氣)”を追い払い、1年の無事や幸福を願う風習があります。最近では、「恵方巻き」が店頭をにぎわすようになりましたが、もともと全国的な風習ではなく、江戸時代に大阪の商人が商売繁盛祈願のために行っていた風習が始まりとされています。

節分にまつわる食べ物

福豆

大豆をいったもの。豆まきに使うほか、自分の年齢の数、または年齢の数+1個食べて、1年の幸福を願います。大豆の代わりに落花生を使う地域もあります。

よくかんで食べよう！



え ほ う ま 恵方巻き

太巻きずし。その年の歳神様がいるとされる“恵方”を向き、願い事を思い浮かべながら、無言で丸かじります。

2026年の
え ほ う 恵方は
なんなんとう
「南南東」



2月献立紹介

〈節分メニュー〉 ☆2月3日(火)・ごはん・いわし甘露煮・刻み昆布と大豆の炒め物・かぼちゃのみそ汁

〈ひむか地産地消の日〉 ☆2月16日(月)・ごはん・おでん・ひじきとツナのマヨネーズサラダ・ふりかけ

〈ベジ活の日〉 ☆2月13日(金)・バーガーパン・チキンパティ・スライスチーズ・野菜のミルクスープ・キャベツとツナのサラダ

〈地産地消週間〉 ☆2月16日(月)~2月20日(金)宮崎県産の野菜を使った献立です。

宮崎県産の、さといも・じゃがいも・キャベツ・きゅうり・だいこん・たまねぎ・にんじんを使用します。

地産地消とは「地元の食べ物を、地元で食べる」とことです。

- ・地(ち): 地元。みんなが住んでいる近くのこと。
- ・産(さん): 生産。野菜や魚・肉などを作ること。
- ・地(ち): 地元。
- ・消(しょう): 消費。食べること。